

2025年度 法学部法律学科 カリキュラムマップ

必修科目

赤字は実習科目

学部 人材養成	法学部は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させ、もって理論実践両面に明るい人材を養成することを目的とする。
学科 人材養成	法学部法律学科は、法律の専門的・体系的知識に基づく法的思考力を修得させるとともに、フィールドワークを通じて実践力を獲得させ、もって地域の行政・企業分野において実務を遂行できる人材、及び企業活動に積極的に関与できる法律のプロフェッショナルを養成することを目的とする。
学位授与 方針	【知識・理解】 ①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。 ②法学・政治学に関する専門的な知識や思考方法（リーガルマインド）が身についている。 【共生・態度】 ③現代社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりたりする姿勢をとることができる。 ④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。 【思考・判断】 ⑤法学・政治学の観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、リーガルマインドをもって筋道立てて思考・判断できる。 ⑥法学・政治学の観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。 【対話・協働】 ⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。 ⑧多様な人々や地域との交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。 【探究・分析】 ⑨現代社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。 ⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。

大学共通														
学位授与の方針 (再表現)	人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。			グループで協力しながら問題を発見し解決する態度、生涯学び続け成長し続ける意欲と態度を身につける。			どのような職業においても必要とされる、法律学の基礎知識を習得したうえで、法律学に裏打ちされた論理的思考力、ならびに、その活用方法を身につける。							現代社会の多様なフィールドにおける諸課題の解決に向けて、法律の枠を超えた総合的・的確な考察をする。
	母語以外の言語で多様な人との基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのように関わっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	社会をより深く理解することで湧いてきた課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。	身に着けた専門性を活用し、グループで協力しながら問題解決に取り組むことで、「論理的思考力」と「課題解決力」を身につける。	社会とのつながりを意識し、自己の経験を内省することで、生涯にわたって学び成長する意欲と態度を身につける。	社会一般で必要とされる基礎的な法律の体系を理解し、法律を使って考える能力を修得する。	基礎的な法律の知識体系を使って、様々な法専門分野とかわる現代社会の問題を分析し考察することができる。	学んだ法律の体系的知識を補完するとともに、発展的知識を身につける。	学んだ法律の体系的知識を活用し、実習を通して課題解決能力とリスクマネジメントの知識を身につける。	公務員採用試験合格に向けた基礎的な知識を身につける。	学んだ法律の体系的知識を活用し、資格取得に必要な専門知識を修得する。	学んだ法律の体系的知識を活用し、企業法務と組織運営の実践力を身につける。	法律の隣接科目の知識及びビジネスパーソンに求められる基礎的なスキルを修得する。
科目区分	外国語科目	教養教育科目	コア科目・実技科目 キャリア科目	実習科目	演習科目		基礎科目	専門科目	特別講座科目	リスクマネジメント科目	公務員対策科目	資格講座科目	企業実務科目	関連科目
4年次					専門演習B	キャリア・チュートリアル4								
3年次			キャリアプラン実践	インターンシップ事前事後指導 インターンシップ	専門演習A	キャリア・チュートリアル3		債権各論1 債権各論2 地方自治法 行政学2 行政救済法 環境法 企業法1 企業法2 税法総論 税法各論	労働法1 労働法2 国際政治学1 国際政治学2 国際法 外国法 登記法1 登記法2 知的財産法		リスクマネジメント各論1 リスクマネジメント各論2 リスクマネジメント実習2	公務員試験対策基礎3	ビジネス実務法務論3 ビジネス実務法務論4 ビジネス実務法務論5	租税論 会計学1 会計学2 統計学入門 TOEIC1 TOEIC2 検定韓国語
2年次	※日本語3	倫理学 外国文学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン プログラミング	職業体験事前事後指導 職業体験 海外語学実習 海外社会実習	法律学基礎セミナー1 法律学基礎セミナー2	キャリア・チュートリアル2	債権総論 物権法 担保物権法 民事訴訟法1 民事訴訟法2 民法総則2 刑法総論 刑法各論	刑事訴訟法1 刑事訴訟法2 行政法総論 行政学1 政治学1 政治学2 法哲学 法社会学	法政特別講座(公法) 法政特別講座(私法) 法政特別講座(地域) 法政特別講座(国際)	リスクマネジメント総論 リスクマネジメント実践論 リスクマネジメント実習1	公務員試験対策基礎1 公務員試験対策基礎2 公務員試験対策基礎演習	法職発展講座(公法) 法職発展講座(私法) 法職発展講座(不動産)	ビジネスと簿記 ビジネス実務法務論1 ビジネス実務法務論2	国際経済学入門 国際社会学 財政学入門 金融論入門 国際金融論
1年次	英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語1 ※日本語2	哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 環境科学 数学と社会 健康科学 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済	キャリアデザイン データサイエンス 情報処理演習 スポーツ実技 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)	地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域異域連携(まちづくり) 社会実習	入門セミナー1 入門セミナー2	キャリア・チュートリアル1	憲法1 憲法2 法律学入門1 法律学入門2 民法総則1	親族法 相続法		リスクマネジメント入門		法職入門講座 法職基礎講座1 法職基礎講座2		ミクロ経済学 ビジネスとコミュニケーション
教育課程編成方針	(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性や高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群(コア科目、リベラルアーツ科目、キャリア科目)に区分する。 ①基幹教育科目群(基礎科目)には、大学での学修の基礎を修得するため「入門セミナー1・2」を必修として配置する。 ②基幹教育科目群(外国語科目)には、英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。さらに、外国語運用能力を広く修得するため、英語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。 ③教養教育科目群(コア科目)には、各学部・学科の専門的な学修に取り組むために必要な学びの技法を修得するために「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」を配置する。 ④教養教育科目群(リベラルアーツ科目)には、豊かな人間性や高い教養を身につけるべく、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。さらに、高度情報化社会で必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「データサイエンス」、「プログラミング」、「数学と社会」の各科目を配置する。 ⑤教養教育科目群(キャリア科目)には、社会的・職業的自立にむけたキャリア意識の形成のために、「キャリアデザイン」を必修として、「キャリアプラン」、「キャリアプラン実践」、「インターンシップ」等の科目を配置する。 (2) 専門教育科目では、専門科目群、特別講座科目群、リスクマネジメント科目群、公務員対策科目群、資格講座科目群、企業実務科目群、関連科目群、演習群の8つに科目群区分する。 ①専門科目群は、学生に学年を追って段階的に科目同士の関連性や法体系を認識させ、法的論理力・思考力を涵養させるべく「憲法1・2」、「法律学入門1・2」、「民法総則1・2」等を配置する。また、これらを展開する「物権法」、「債権総論」、「刑法総論」等を配置する。さらに、プレゼンテーションや協働能力の向上のために「キャリア・チュートリアル1～4」を配置する。 ②特別講座科目群は、様々な発展的なテーマを扱う法律科目や法律に限らない実践的な内容を学ぶために「法政特別講座」を配置する。 ③リスクマネジメント科目群は、「リスクマネジメントコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、リスクマネジメントの知識を入門から実践まで体系的に学ぶことができる「リスクマネジメント入門」、「リスクマネジメント実践論」等を配置する。 ④公務員対策科目群は、「スーパー公務員養成プログラム」に所属する学生が、公務員採用試験合格に向けた基礎的な知識を身につける科目として、「公務員試験対策基礎1～3」、「公務員試験対策基礎演習」を配置する。 ⑤資格講座科目群は、学生が関心や将来の進路に応じて資格取得を目指すことができるように「法職入門講座」、「法職基礎講座1・2」、「法職発展講座」等を配置する。 ⑥企業実務科目群は、「キャリアコース」に所属する学生が、将来の進路に応じて、企業の組織運営と企業法務の知識を実践的に学ぶことができる「ビジネス実務法務論1～5」、「ビジネスと簿記」を配置する。 ⑦関連科目群は、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキル及び付加価値の高い公務員としての能力を養うための科目等を配置する。 ⑧演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため「専門演習A・B」を配置する。													
入学者受入れ方針	法学部法律学科は、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。 ①高等学校の教育課程を幅広く修得している。 ②高等学校までの「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 ③現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。 ④クラブ活動や委員会活動、社会奉仕等を通じて、多様な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を身につけている。 ⑤法律学の知識やリーガルマインド及び学内外での様々な体験を社会で活かしたいという目的意識と意欲がある。													

必修科目 赤字は実習科目

学部 人材養成	現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成することを目的とする。
学科 人材養成	現代ビジネス学部地域経済学科は、経済学や経営学に関する基本的な知識を身につけ、企業や地域の組織体での就労を通して産業や地域社会に貢献する中堅的な人材を養成することを目的とする。
学位授与 方針	【知識・理解】 ①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。 ②法学・政治学に関する専門的な知識や思考方法(リーガルマインド)が身についている。 【共生・態度】 ③現代社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりったりする姿勢をとることができる。 ④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。 【思考・判断】 ⑤法学・政治学の観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、リーガルマインドをもって筋道立てて思考・判断できる。 ⑥法学・政治学の観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。 【対話・協働】 ⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。 ⑧多様な人々や地域との交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。 【探究・分析】 ⑨現代社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。 ⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。

大学共通				現代ビジネス学部共通											
学位授与の方針 (再表現)	人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。			専門性を活用して社会に存在する課題を自ら見つけ出し、仲間とともに、課題解決していくための力を身につける。		経済学や経営学の専門的な視点から地域社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、地域社会に存在する課題を解決していくための専門的な力を身につける。								社会の仕組みの理解を深めたり、社会への参加の意識と可能性を広げるために活用できる知識と技能を学部・学科の専門領域を超えて広く修得する。	
	母語以外の言語で多様な人との基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	社会をより深く理解することで湧いてきた課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。	専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。	地域の状況を、歴史・地域特性、政策、地域企業の状況などから把握し、グローバル化の進展する世界において地域社会でどのように生きていくか考えるための基礎的な知識を修得する。	経済学・経営学の専門的な視点から地域社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、課題解決の手法を修得し、地域経済の発展に貢献できる能力を身につける。	経済学の専門的な視点から地域ならびに世界の経済的課題を深く理解し、課題解決の手法を修得し、地域経済の発展に貢献できる能力を身につける。	経営学の専門的な視点から企業に関わる課題を理解し、解決するための知識を修得すると共に、実践的な学びを通して将来のビジネスリーダーとしての地域貢献ができる力を身につける。	地域社会・地域経済に関する専門的な学びと、様々な形で地域との対話・協働の実践を通じ、地域の現状に挑戦し、これからの未来を作り上げていく、知識と分析力、実践力を身につける。	観光学の基礎的知識を修得した後、グローバルな視点も交え国内外の観光市場へのアプローチ法を学ぶ。次に、理論学習を通じて現象を理解すると共に、課題を調査・分析する力を身につける。	経済学や経営学の知識を学びながら社会や地域におけるスポーツの役割や課題を理解し、それらを解決するための知識で活躍できるスポーツリーダーとして多様な能力を身につける。	経済学・経営学の専門的学びを活用し、実践するために、法律、国際関係、コミュニケーションに関する基礎的な知識と技能を修得する。		
科目区分	外国語科目	教養教育科目	コア科目・実技科目 キャリア科目	実習科目	演習科目	基礎科目	基幹科目	経済コース	経営コース	地域づくりコース	観光ビジネスコース	スポーツマネジメントコース	関連科目		
4年次					卒業研究										
3年次			キャリアプラン実践	インターンシップ事前事後指導 インターンシップ	専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		地方財政論 グローバル経済論	租税論 経済統計 応用経済学	企業論 会計学4 国際物流論 ビジネスリーダーシップ論 ビジネスケーススタディ リスクマネジメント総論 アントレプレナーシップ特別講義	地域経済論 社会調査法 地域づくり実習Ⅱ 地域資源利用論	ホスピタリティ・マネジメント 観光調査法	スポーツ社会学 スポーツ心理学 スポーツレクリエーション指導演習	国際政治学1 国際政治学2 国際法 公務員試験対策基礎3		
2年次	※日本語3	倫理学 外国文学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン プログラミング	職業体験事前事後指導 職業体験 海外語学実習 海外社会実習	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	北九州学 ビジネスと法律	地域経済論入門 マクロ経済学 日本経済論 経済政策論 国際経済学入門 労働経済学 財政学入門 金融論入門 統計学入門 会計学2 会計学3 経営組織論 流通概論 企業論入門 マーケティング論入門 人的資源管理論	経済学史 社会保障論 国際金融論 経済史 経済数学 環境経済論 国際貿易論	マーケティング論 経営管理論 中小企業論 ビジネスデータ分析 経営資格講座	地域づくり論 都市とコミュニティ 地域づくり実習Ⅰ	ホテルマネジメント論 観光ビジネス論 観光マーケティング論 観光プラン実践Ⅰ 観光プラン実践Ⅱ	コーチング論 スポーツマネジメント概論 イベントプランニング 発育発達論 スポーツバイオメカニクス論	憲法2 国際社会学 TOEIC 1 TOEIC 2 Advanced TOEIC 1 Advanced TOEIC 2 フアンリテーション実践 公務員試験対策基礎1 公務員試験対策基礎2 公務員試験対策基礎演習		
1年次	英語1A 英語1B 英語2A 英語2B 英語リスニング・スピーキング1 英語リスニング・スピーキング2 英語リーディング・ライティング1 英語リーディング・ライティング2 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語1 ※日本語2	哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 環境科学 数学と社会 健康科学 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済	キャリアデザイン データサイエンス 情報処理演習 スポーツ実技 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル (情報リテラシーと調査)	プラン&ブラクティス 地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域貢献(まちづくり)	入門セミナー1 入門セミナー2 グローバルスタディーズ入門	経済学入門 マネジメント入門 グローバルスタディーズ入門	ミクロ経済学 経営戦略論 会計学1 観光概論 対人コミュニケーション論						ビジネスとコミュニケーション 民法総則 憲法1 法学概論		
教育課程 編成方針	(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性や高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群(コア科目、リベラルアーツ科目、キャリア科目)に区分する。 ①基幹教育科目群(基礎科目)には、大学での学修の基礎を修得するため「入門セミナー1・2」を必修として配置する。 ②基幹教育科目群(外国語科目)には、英語の運用能力の修得のため、「英語1A」、「英語1B」、「英語2A」、「英語2B」を必修として配置する。さらに、外国語運用能力を広く修得するため、英語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。 ③教養教育科目群(コア科目)には、各学部・学科の専門的な学びに取り組むために必要な学修の技法を修得するために「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」を配置する。 ④教養教育科目群(リベラルアーツ科目)には、豊かな人間性や高い教養を身につけるべく、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。さらに、高度情報化社会で必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「データサイエンス」、「プログラミング」、「数学と社会」の各科目を配置する。 ⑤教養教育科目群(キャリア科目)には、社会的・職業的自立にむけたキャリア意識の形成のために、「キャリアデザイン」を必修として、「キャリアプラン」、「キャリアプラン実践」、「インターンシップ」等の科目を配置する。 (2) 専門教育科目では、基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分する。 ①基礎科目群は、経済学・経営学の基礎科目である「経済学入門」、「マネジメント入門」を必修として配置する。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく「プラン&ブラクティクス」を配置する。 ②基幹科目群は、グローバル化の進む経済社会、ならびに地元北九州の地域特性を理解するため「地域経済論入門」を学科の必修科目として配置する。さらに経営学的な思考を身につけるために「会計学1～3」、「経営組織論」等を配置し、経済・経営の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得する。 ③コース科目群は、地域社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて5つのコース科目として配置する。学生は5つのコース「経済コース」、「経営コース」、「地域づくりコース」、「観光ビジネスコース」、「スポーツマネジメントコース」のいずれかに所属する。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨する。 ④関連科目群は、教員免許取得に必要な科目やコミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。 ⑤演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置する。														
	入学者 受入れ 方針	現代ビジネス学部地域経済学科は、次に掲げる知識や能力、ならびに目的意識や意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。 ①高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 ②現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。 ③クラブ活動や委員会活動、社会奉仕等を通じて、様々な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を有している。また、経済学や経営学の知識及び学内外での各種体験を、社会で活かしたいという目的意識と強い意欲とがある。													

2025年度 現代ビジネス学部 国際社会学科 カリキュラムマップ

必修科目

赤字は実習科目

学部 人材養成	現代ビジネス学部は、21世紀の社会を展望し、グローバル化の進む世界や地域のビジネス組織、すなわち企業、自治体、民間団体などで活躍できる豊かな教養と知識を有する人材を養成することを目的とする。
学科 人材養成	現代ビジネス学部国際社会学科は、国際社会科学を基にして異文化を理解し国際情勢を読み解くための基礎的な知識を身につけ、現代社会のグローバルな変化に対応できる国際対話能力を養い、国際社会だけでなく地域社会でも活躍する人材を養成することを目的とする。
学位授与 方針	【知識・理解】 ①人文・社会・自然に関する基本的な情報と知識を有し、それらについての理解ができるようになる。 ②法学・政治学に関する専門的な知識や思考方法（リーガルマインド）が身についている。 【共生・態度】 ③現代社会のしくみや、他者との間の立場や価値観・文化の違いを理解した上で、相手を尊重したり思いやりったりする姿勢をとることができる。 ④より良い生き方の実現を自己の目的として定め、自身の成長のために目標設定し、自己管理し、取り組み続けることができる。 【思考・判断】 ⑤法学・政治学の観点から、適切な推論に基づき、また調査や知識の活用を行いつつ、リーガルマインドをもって筋道立てて思考・判断できる。 ⑥法学・政治学の観点から、問題を発見でき、さらにその解決に必要な手段を多角的に講じ、総合的な判断に基づき解決策を導き出すことができる。 【対話・協働】 ⑦他者と協調・協働して行動できる。また目標の実現のために、他者に進むべき方向性を示しつつ、主導できる。 ⑧多様な人々や地域との交流を通じて、どのような他者を相手にする場合であっても、建設的に対話できる。必要であれば外国語を用いてそれを行える。 【探究・分析】 ⑨現代社会の諸課題に対し、様々な手法を活用してデータの生成や整理をしたり、さらには分析したりすることができる。 ⑩現代社会において求められる、情報を収集し吟味した上で判断する力を身につけることができる。さらには正しい情報を発信することもできる。

大学共通				現代ビジネス学部共通							
学位授与の方針 (再表現)	人文社会自然科学を基礎とした幅広い教養を身につけている。			専門性を活用して社会に存在する課題を自ら見つけ出し、仲間とともに、課題解決していくための力を身につける。		国際社会科学や異文化理解の専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、現代社会に存在する課題を解決していくための専門的な力を身につける。					
	母語以外の言語で多様な人との基礎的なコミュニケーションをとるための基本的な語学力を身につける。	社会の基本構造や多様な人々の考え方を知り、自身が社会にどのようにかかわっていくか考えるための基本的な知識を修得する。	社会人として中長期的な人生設計に基づき活躍していくための基本的な知識・技能を修得する。	社会をより深く理解することを通して課題意識を基に、答えのない課題に主体的に取り組む力を身につける。	専門性を活用して社会を読み解き、仲間と意見交換を重ねながら社会と自己の関係を整理し、自らのやるべきことを特定する力を身につける。	地域の状況を、歴史、地域特性、政策、地域企業などの状況などから把握し、グローバル化の進展する世界において地域社会でどのように生きていくか考えるための基礎的な知識を修得する。	国際社会科学・異文化理解に関する専門的な視点から現代社会の多様なフィールドにおける課題をより深く理解し、解決していくための基盤的な知識を修得する。	バランスのとれた実践的な英語力を習得するとともに、英語圏の文学や文化を通じ、読解力と批判的思考力を養う。さらに言語構造や発音に関する知識にも触れながら、異文化理解のためのより専門的な知識を身につける。	韓国・朝鮮半島の歴史や文化、社会に関する知識を深めるとともに、実用的な韓国語能力の技能をバランスよく高める。また、実践的な学びを通してコミュニケーション能力や協働性、問題解決力を養う。	国際政治や国際経済など、国際情勢を理解するために必要な専門知識を身につける。また、異文化理解を深め、多文化共生の視点を養い、グローバル化する国際社会・地域社会で幅広く活躍できる知識とスキルを習得する。	組織を円滑に運営するために必要なコミュニケーション能力や他者に対する理解と配慮の能力と、実践的なマナーを身につける。
科目区分	外国語科目	教養教育科目	コア科目・実技科目 キャリア科目	実習科目	演習科目	基礎科目	基幹科目	英語コース	ハングルコース	国際コース	関連科目
4年次					卒業研究						
3年次			キャリアプラン実践	インターンシップ 事前事後指導 インターンシップ	専門演習Ⅲ 専門演習Ⅳ		国際政治学Ⅰ 国際政治学Ⅱ 異文化コミュニケーション論 国際社会と福祉 国際法 グローバル経済論 グローバル化時代と国際関係	英米文学講読Ⅰ 英米文学講読Ⅱ 英語研究Ⅰ 英語研究Ⅱ Advanced Reading Advanced Writing Speech & Discussion	実用韓国語 日韓交流実践	カルチュラルスタディーズ(宗教) 国際協力実践論 NGO実践論 多文化共生実践論	ホスピタリティ・マネジメント ビジネスリーダーシップ論 会計学 公務員試験対策基礎Ⅲ
2年次	※日本語3	倫理学 外国文学 教育学 日本国憲法 人権論 地域学	キャリアプラン プログラミング	職業体験 事前事後指導 職業体験	専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ	北九州学 ビジネスと法律	国際社会科学 国際経済学入門 比較文化論 日本文化論 比較宗教論 アメリカ文学 イギリス文学 欧米社会論	Advanced TOEIC Ⅰ Advanced TOEIC Ⅱ Communicative English Ⅰ Communicative English Ⅱ Reading Writing 英語学概論 英文法論 英語音声学Ⅰ 英語音声学Ⅱ	韓国事情Ⅰ 韓国事情Ⅱ 韓国語会話Ⅰ 韓国語会話Ⅱ 検定韓国語	国際協力論 カルチュラルスタディーズ(思想) カルチュラルスタディーズ(社会) 開発経済論 NGO論 多文化共生論	ファシリテーション実践 対人コミュニケーション論 公務員試験対策基礎Ⅰ 公務員試験対策基礎Ⅱ 公務員試験対策基礎演習
1年次	英語ⅠA 英語ⅠB 英語ⅡA 英語ⅡB 英語リスニング・スピーキングⅠ 英語リスニング・スピーキングⅡ 英語リーディング・ライティングⅠ 英語リーディング・ライティングⅡ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 韓国語Ⅰ 韓国語Ⅱ インドネシア語Ⅰ インドネシア語Ⅱ ※日本語Ⅰ ※日本語Ⅱ	哲学 日本史 外国史 日本文学 心理学 法学 経済学 社会学 自然科学概論 環境科学 数学と社会 健康科学 地域連携(多世代交流) ※日本文化 ※日本経済	キャリアデザイン データサイエンス 情報処理演習 スポーツ実技 アカデミックスキル(思考) アカデミックスキル(表現) アカデミックスキル (情報リテラシーと調査)	プラン&プラクティス 海外語学実習 海外社会実習 地域連携(地域貢献) 地域連携(社会貢献) 地域貢献(まちづくり)	入門セミナーⅠ 入門セミナーⅡ	グローバル・スタディーズ入門 経済学入門 マネジメント入門	Topic Based English Ⅰ Topic Based English Ⅱ 国際社会入門Ⅰ 国際社会入門Ⅱ TOEIC Ⅰ TOEIC Ⅱ 外書講読				ビジネスとコミュニケーション
教育課程 編成方針	(1) 共通教育科目では、教養教育を担うため全学部共通で設定しており、大学での学修の基礎となる知識やスキル、そして豊かな人間性と高い教養を身につけるべく基幹教育科目群(基礎科目、外国語科目)、教養教育科目群(コア科目、リベラルアーツ科目、キャリア科目)に区分する。 ①基幹教育科目群(基礎科目)には、大学での学修の基礎を修得するため「入門セミナー1・2」を必修として配置する。 ②基幹教育科目群(外国語科目)には、英語の運用能力の修得のため、「英語ⅠA」、「英語ⅠB」、「英語ⅡA」、「英語ⅡB」を必修として配置する。さらに、外国語運用能力を広く修得するため、英語・韓国語・中国語・インドネシア語の科目を配置する。 ③教養教育科目群(コア科目)には、各学部・学科の専門的な学修に取り組むために必要な学びの技法を修得するために「アカデミックスキル(思考)」、「アカデミックスキル(表現)」、「アカデミックスキル(情報リテラシーと調査)」を配置する。 ④教養教育科目群(リベラルアーツ科目)には、豊かな人間性と高い教養を身につけるべく、人文・社会・自然の各領域の科目を配置する。また、地域に根差した人材育成のため「地域連携」に関わる科目を配置する。さらに、高度情報化社会に必要な情報リテラシーや基本的な能力の修得のため、「情報処理演習」、「データサイエンス」、「プログラミング」、「数学と社会」の各科目を配置する。 ⑤教養教育科目群(キャリア科目)には、社会的・職業的自立にむけたキャリア意識の形成のために、「キャリアデザイン」を必修として、「キャリアプラン」、「キャリアプラン実践」、「インターンシップ」等の科目を配置する。 (2) 専門教育科目では、基礎科目群、基幹科目群、コース科目群、関連科目群、演習群の5つに科目群区分する。 ①基礎科目群は、グローバル社会における諸問題について、人文・社会科学のさまざまな視点から考える「グローバル・スタディーズ入門」を必修として配置する。また、PBL型の教育により地域の諸課題の解決方を学生に考えさせることで課題発見力、プレゼンテーション能力、課題へのアプローチ方法、実践力等を身につけるべく、「プラン&プラクティクス」を配置する。 ②基幹科目群は、英語運用能力の向上と英語情報を用いて学ぶ思考力と技術を養うために「Topic Based English Ⅰ」を必修科目として配置する。また、「国際社会入門1・2」を学科の必修科目として配置する。さらに国際社会を理解するために「国際経済学入門」、「グローバル化時代と国際関係」、「異文化コミュニケーション論」等を配置し、国際社会科学の各学問領域における専門的基礎知識を体系的に修得する。 ③コース科目群は、国際社会の具体的な問題解決を行い、各学問領域における専門知識を現場で応用できるよう、各コースで必要とされる専門科目を必修化し、それに関連する科目を学問系列ごとに分けて3つのコース科目として配置する。学生は3つのコース「英語コース」、「ハングルコース」、「国際コース」のいずれかに所属する。なお、所属のコース科目で生まれた新たな関心・意欲に応え、幅広い学問領域における専門知識を体系的に修得するため、他のコース科目の履修を推奨する。 ④関連科目群は、コミュニケーションスキルを養うための科目等を配置する。 ⑤演習群は、それまで修得できた知識やスキルを統合するとともにコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、課題発見力、課題解決力等を養成するため、必修科目として「専門演習Ⅰ～Ⅳ」を配置し、学修の集大成として「卒業研究」を配置する。										
入学者 受入れ 方針	現代ビジネス学部国際社会学科は、次に掲げる知識や能力、ならびに目的意識や意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。 ①高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「国語総合(現代文)」や「英語」の履修を通じて、基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。 ②現代社会の問題について、知識や情報をもとに筋道立てて考え、その内容をわかりやすく表現できる。 ③クラブ活動や委員会活動、社会奉仕等を通じて、様々な人々と協働して主体的に学ぶ姿勢を有している。また、国際社会科学や異文化理解の知識及び学内外での各種体験を、社会で活かしたいという目的意識と強い意欲とがある。										